

鳥取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例をここに公布する。

平成28年9月23日

鳥取市長 深澤義彦

### 鳥取市条例第38号

鳥取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

鳥取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年鳥取市条例第28号）の一部を次のように改正する。

第29条第7号イの表4階以上の階の部避難用の項及び第44条第8号イの表4階以上の階の部避難用の項中「外気に向かって開くことのできる窓若しくは排煙設備（同条第3項第1号に規定する国土交通大臣が定めた構造方法を用いるものその他有効に排煙することができるものと認められるものに限る。）を有する付室」を「付室（階段室が同条第3項第2号に規定する構造を有する場合を除き、同号に規定する構造を有するものに限る。）」に、「同条第3項第2号、第3号及び第9号」を「同条第3項第3号、第4号及び第10号」に改める。

附則に次の見出し及び5項を加える。

（小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の職員配置に係る特例）

6 平成32年3月31日までの間、第30条第2項各号又は第45条第2項各号に定める数の合計数が1となるときは、第30条第2項又は第45条第2項に規定す

る保育士の数は1人以上とすることができる。ただし、配置される保育士の数が1人となるときは、当該保育士に加えて、保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者を置かなければならない。

7 平成32年3月31日までの間、第30条第2項又は第45条第2項に規定する保育士の数の算定については、幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の普通免許状（教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第4条第2項に規定する普通免許状をいう。）を有する者を、保育士とみなすことができる。

8 平成32年3月31日までの間、1日につき8時間を超えて開所する小規模保育事業所A型又は保育所型事業所内保育事業所（以下「小規模保育事業所A型等」という。）において、開所時間を通じて必要となる保育士の総数が当該小規模保育事業所A型等に係る利用定員の総数に応じて置かなければならない保育士の数を超えるときは、第30条第2項又は第45条第2項に規定する保育士の数の算定については、保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者を、開所時間を通じて必要となる保育士の総数から利用定員の総数に応じて置かなければならない保育士の数を差し引いて得た数の範囲内で、保育士とみなすことができる。

9 前2項の規定を適用するときは、保育士（第30条第3項若しくは第45条第3項又は前2項の規定により保育士とみなされる者を除く。）を、保育士の数（前2項の規定の適用がないとした場合の第30条第2項又は第45条第2項により算定されるものをいう。）の3分の2以上、置かなければならない。

10 小規模保育事業所A型等の設置者は、市長が別に定めるところにより、附則第6項に規定する保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者並びに附則第7項及び第8項の規定により保育士とみなされる者に対して、保育の質を確保するために必要な研修を受けさせなければならない。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。